

# 小田原


広

報

まちづくり情報誌

2000 12月号  
12/1

平成12年12月1日発行  
No.784



祝  
60周年  
小田原市

年表で振り返るおだわら

# おだわら写真館

小田原市が誕生してからちょうど60年。小田原は、豊かな自然と歴史・文化などの恵まれた環境を背景に、神奈川県の西の玄関として発展してきました。この60年の小田原の歩みを振り返ってみましょう。



市制施行を祝う  
幼稚園児の鼓笛隊 (昭和16年)



市立病院第1期工事 (昭和33年)



にぎわう  
小田原競輪場 (昭和24年)

## おだわら 60年のあゆみ

- 1940年 (昭和15年)  
小田原町・足柄町・大倉村・早川村・瀬戸村の一部が合併して小田原市となる。
- 1941年 (昭和16年)  
第1回小田原市議会議員選挙が行われる。
- 1947年 (昭和22年)  
第1回小田原市長選挙が行われる。
- 1948年 (昭和23年)  
下府中村が小田原市と合併する。
- 1949年 (昭和24年)  
小田原競輪が始まる。
- 1950年 (昭和25年)  
こども文化博覧会が開始される。こども運動地・動物園が開設 (市制10周年記念)。  
桜井村が小田原市と合併。
- 1951年 (昭和26年)  
豊川村・瀬戸町・国府津町・上府中村・下御我村・片淵村が小田原市と合併する。
- 1953年 (昭和28年)  
郷土文化館・城山競球場、城山陸上競技場が完成。国民体育大会で小田原市が軟式野球とソフトボール競技の会場に。
- 1956年 (昭和31年)  
御我村の一部が小田原市と合併。
- 1958年 (昭和33年)  
市立病院が開業。
- 1960年 (昭和35年)  
小田原城天守閣の再建工事が完成 (市制20周年記念)。
- 1962年 (昭和37年)  
市民会館が開業。
- 1969年 (昭和43年)  
市大産市場が操業開始。
- 1970年 (昭和45年)  
御幸の浜プールがオープン。
- 1971年 (昭和46年)  
小田原城常盤大門を復興 (市制30周年記念)。  
橋町が小田原市と合併。
- 1972年 (昭和47年)  
西湘ハイパスが全面開通。
- 1976年 (昭和51年)  
公設青果地場・卸売市場が開業。

御幸の浜プール  
開場 (昭和45年)



小田原城天守閣  
再建の様子 (昭和35年完成)



こども文化博覧会の  
宣伝行列 (昭和25年)





西海バイパスの  
開通(昭和47年)



小田原駅東口  
地下街工事

お城祭り  
パレードに参加した  
牧仲さん(昭和53年)

小田原駅東口広場と地下街が完成

1979年(昭和54年)

小田原スポーツ会館がオープン

1980年(昭和55年)

中央公民館が完成(市制60周年記念)

栃本県庁市と姉妹都市提携を結ぶ

1981年(昭和56年)

アメリカ合衆国カリフォルニア州テュラヒ  
スタ市と海外姉妹都市提携を結ぶ

1982年(昭和57年)

いこいの森がオープン

1983年(昭和58年)

尊徳記念館、保健センターがオープン

1986年(平成2年)

石垣山一帯緑地が歴史公園としてオープン

小田原球場が完成

1987年(平成3年)

開業学校大幸小田原キャンパスが開校

1988年(平成4年)

梅の里センター・生きがいみれあいセンター  
水道高層庁舎が完成

1994年(平成6年)

新消防本部・署庁舎が完成

かもめ図書館、小田原文学館がオープン

1998年(平成10年)

黒立生命の星・地球博物館がオープン

小田原フワリカゲテラスがオープン

小田原市の人口が20万人を突破

市の鳥をコナシヤシに制定

1998年(平成10年)

川東タウンセンター・マロニエがオープン

1999年(平成11年)

総合文化体育館小田原アリーナ、テニアカ  
ーテンがオープン

1999年(平成11年)

小田原城跡門が完成、歴史空間館も同時オ  
ープン

白杖重運館、おたから国際交流フロンティア  
オープン

国民体育大会で小田原市がバスケボール  
フットボールソフトボール競技の会場に

1999年(平成11年)

管我みのり館がオープン

2000年(平成12年)

小田原こどもの森公園わんぱくランドがオ  
ープン

小田原駅東西自由連絡通路の建設工  
全国で初の特例市に移行

地方分権への第一歩となる  
特例市事務引き継ぎ  
(平成12年)



白熱した  
国民体育大会の様子  
(平成10年)



チュラピスタ市との  
海外姉妹都市提携式  
(昭和56年)



# 検証！「二十世紀の豫言」

あたる

「激動の20世紀」も、いよいよ残すところあと1か月となりましたが、21世紀に思いをはせる前に、ちよっと20世紀を振り返ってみましょう。

明治34年(1901年)1月2日・3日付の報知新聞に、「二十世紀の豫言」と題した記事が掲載されました。20世紀の始めに100年後の世界を想像したもので、全部で23項目挙げられています。全文を紹介いたします。今の状況と比べながら、真偽のほどを確かめてみてください。続きは、広報おたわらいふ12月15日号に掲載します。

〔原文は、田かなづかいと田字体で書かれています。また、読みやすくするために句読点、ルビ・注釈を適宜入れるなど、手を加えた部分もありますが、それ以外は掲載時の原文とおりです。〕

十九世紀は既に去り、人も世も共に二十世紀の新舞台に現われることとなりぬ。十九世紀に於ける世界の進歩は頗る驚くべきものあり。形而下に於いては「蒸気力時代」「電気力時代」の称あり、また形而上に於いては「人道時代」「福人時代」の名あることなるが更に歩を進めて二十世紀の社会は如何なる現象をか呈出するべき。既に此三四十一年間には、仏国の小説家ジュール・ベルヌの輩が二十世紀の予言めきたる小説をもつて読者の喝采を博したることなるが、若し十九世紀間進歩の勢力にして年と共に益増加せんか、今日なお不思議の惑問中に在るもの、漸々思議の領内に入り来ることなるべし。今や其大時間の冒頭に立ちて遙かに未来を予望するも亦快ならずとせず、世界列強形成の変動は先ずさし措きて、暫く物質上の進歩に就きて想像するに……

## 無線電信及び電話

マルコニー氏発明の無線電信は一層進歩して、只に電信のみならず、無線電話は世界諸國に連絡して、東京に在るものが倫敦・紐育にある友人と自由に対話することを得べし。



## 遠距離の写真

数十年の後、欧州の天に戦雲暗濛たることあらん時、東京の新聞記者は編集局に在りて電氣力によりて其状況を早取写真となすことを得べし、而して其写真は天然色を現象すべし。

## 野獣の滅亡

阿弗利加の原野に到るも、獅子・虎・豹

魚等の野獣を見ること能わず。彼等は僅に大都會の博物館に余命を繼ぐべし。

## サハラ砂漠

サハラの大砂漠は漸次沃野に化し、東半球の文明は漸々支那・日本及び阿弗利加に於いて発達すべし。

## 七日間世界一周

十九世紀の末年に於いて勝つとも八十日間を要したりし世界一周は、二十世紀末には七日を要すれば足ることなるべく、また世界文明國の人民は、男女を問わず必ず一回以上世界漫遊をなすに至らむ。



## 空中軍艦・空中砲台

チェッペン式の空中船は大いに発達して、空中に軍艦濠い空中に修砲場を現出すべく、從つて空中に砲台浮かぶの奇觀を呈するに至らん。

## 蚊及び蚤(のみ)の滅亡

衛生事業進歩する結果、蚊及び蚤の類は漸次滅亡すべし。

## 暑寒知らず

新器械発明せられ、暑寒を調節する為に適宜の空気を送り出すことを得べし。阿弗利加の進歩も此爲なるべし。



## 植物と電氣

電氣力を以て野菜を成長することを得べく、而して豌豆(注)「そらまめ」は種大となり、菊・牡丹・薔薇は緑・黒等の花を開くもあるべく、北寒帯のグリーンランドに熱帯の植物生長するに至らん。



## 人声十里に達す

伝声器の改良ありて、十里の遠きを隔てたる男女、互いに婉々たる情話をなすことを得べし。

注：1里は約0.39 km。

## 写真電話

電話口には、對話者の肖像現出するの装置あるべし。

## 買物便法

写真電話によりて遠距離にある品物を鑑定し、且つ売買の契約を整へ、其品物は地中鉄管の装置によりて、瞬時に落手することを得ん。



## 電氣の世界

新炭・石炭共に竭き、電氣に代わりて燃料となるべし。



# 作品に見る 小田原

根府川  
東海道の小駅  
赤いカンナの咲いている駅

たつぷり寒萎のある  
大きな花の向うに

いつもまっさおな海がひろがっていた

中野どの産の話をきかされながら  
友と二人き、を運ったことがあった

あふれるまうな青春を

リュックにつめてこみ

動員令をポケットに  
ゆられていったこともある

燃えさかると東京をあとに  
ネーブルの花の白かったふるさとへ

たどりつくことも  
あなたには在った

大高いカンナの花よ

おだやかな相模の海よ

沖に光る波のひとつひら

あ、そんなかマヤきに似た

十代の歳月

風船のように消えた

無知で純粋で徒勞だった歳月

うしなわれたたった一つの海賊箱

はっネリと

茶く

困をだきしめて

扇をあげていた

某ツバ服時代の小さいあたしを

根府川の海よ

忘れはれない小田原の

女の年輪をまじしなが

ふた、ひ私は通過する

あれから八年

ひたすらに不敵なこころを育て

海よ

あなたのように

あらぬ方を眺めながら

ねぶかわ  
根府川  
NEBUKAWA  
神奈川県小田原市  
ねぶかわまきびる  
NEBUKAWA MAKIBIRU



監督 黒澤明

## 『天国と地獄』

東宝株式会社



新幹線開通前のこだまの車窓から



左：黒澤明 右：三船敏郎

自分の運転手の息子を誘拐された会社重役の権藤（三船敏郎）は、誘拐犯人の指示に従い、身代金の入った鞆を持って特急第二こだまに乗った。国府津駅に差し掛かるところで犯人から電話がかかる。酒匂川の鉄橋のたもとで子供を見せる。渡りきったところで車窓から鞆を投げろというのだ。一緒に乗り込んだ刑事たちは、犯人の姿を捉えようと運転席から懸命に8ミリの銃を回す。

映画のクライマックスともいえるこのシーンで、新幹線開通前のこだまの車窓から昭和37年当時の酒匂川の様子をうかがうことができます。

（写真提供・東宝株式会社）

村上春樹

## 『ダンス・ダンス・ダンス』

講談社

ある日、ユキが何か映画を見たいと言った。僕は小田原まで下りて新聞を買って調べてみたが、たいした映画はやっていなかった。二番館で五反田君の出る『片想い』をやっているだけだった。

（中略）

僕は映画館に電話をかけて『片想い』の始まる時間を調べ、それまで城の中の動物園に行つて時間を潰した。お城の中に動物園のある町なんて小田原以外にはまずないだろう。

中河与一

## 『超一流の人々』

日本総合出版

神奈川県小田原の一夜城跡に一年ほど前、僕は桜の苗木四十本を寄贈した。

今度そこを石垣山歴史公園と名づけて、市が整備改造した結果、其処は驚くべき快適、豊富な地域に変貌した。そのために小田原市がそそいだ努力と年月は大変なものであつたように思はれる。

それは岡山の後楽園も、金沢の兼六園も、水戸の偕楽園も所謂三大公園もその景観、規模に於て到底及ばぬこと数段、勿論那家第一の公園と云ふべきものになった。僕は前に二、三度そこに行ったが、四月二十九日、大茶会を市が催すといふので、行つてみて、その変貌のみこときに驚嘆せざるをえなかつた。



石垣山(左)と大茶会



小田原城址公園・動物園

朝井 閑右衛門

『積みわらのある風景』

横須賀市蔵



積みわらのある風景 1928～32年ころ

朝井閑右衛門（明治34年～昭和58年）大阪に生まれ、画家を志し上京、大正15年「屍園に於て」が二科展初入選、昭和11年「丘の上」が文展文部大臣賞受賞、昭和3年から数年にわたり、小田原町新玉、谷津などに住み早川のアーティストで作画活動を行いました。小田原時代には、小説家牧野信一、川崎長太郎、詩人の福田正夫、彫刻家の牧雅雄らと交流しています。

「積みわらのある風景」は、昭和3～7年の早川の風景を描いたものと考えられています。

歌川 広重

浮世絵「曾我物語図会」

岩崎宗純氏蔵



曾我の里でごき父を徳ぶ兄弟

曾我兄弟の仇討ちは、鎌倉時代の末ごろから、修験比丘尼によって読み継がれ語り継がれ上演されました。

曾我谷津の城前寺では、毎年5月28日に、この故事にちなんだ奉焼まつりが行われています。

童門 冬二

『小説二宮金次郎』

学陽書房



奉焼まつり

作品に見る小田原



二宮尊徳生家

金次郎が生まれたのは天明七年（一七八七）七月二十三日であった。陽曆にすると九月になる。

彼の生まれた栢山村は、酒匂川のほとりにあって、対岸は豊孫村だった。北は吉田島村、酒田村、西は栢沢村、岡本村に囲まれている。南は足柄村だが、そのまま栢村の裾野に続いていく。北方は丹沢の山塊に連なる。東はそのまま相模灘に連なっていく。なにもなければ山や川に囲まれた平穏な地域である。

郷土の巨星も讃える

# 小田原の名物



梅干し

梅干しの起源は古く、遣隋使小野妹子が中国から持ち帰った漢方薬烏梅が日本最初と言われている。小田原梅干しの祖は、北条早雲と言われている。梅干しの薬効と腐敗を防ぐ作用に目をつけ、戦の食用として梅干しづくりを奨励したという。江戸時代には、小田原宿の土産として旅人に重宝された。特に、梅干しの里である曾我の極上品「十俵梅」は、皮は絹はだのようにきめ細かく、塩加減はうすく、口の中でとろけるようだと称賛され、天下一品である。

ひもの

江戸時代、地場で揚がるアジ・カマスを開き干しにし、保存食として商いにしたのがそもそもの起りりと記される。品の良い味わいと丁寧なつくりが小田原ひもの特徴。アジ・カマス・イボ鯛・金目鯛など、小田原の恵みと秘伝の塩加減によって大切につくられるひものは究極の逸品である。



塩辛

相州小田原宿より松並木の東海道を少し上がった、国府津から大磯にかけての海岸帯にみごとな塩田があり、塩が豊富にあった。海からは新鮮なイカが大漁に上がり、水の良い小田原には酒蔵も多かったため、つくり酒屋に卸す籠がふんだんに手に入った。こうして江戸後期に登場する名物「イカの籠入り塩辛」が、東海道小田原の土産として街道を賑わせた。



われは、梅干しパワーで  
戦国時代を  
生き抜いたのじゃぞ！



## 北条早雲

室町後期の武将。小田原北条氏の祖。はじめ今川義忠を頼って駿河に滞在し、義忠の死後内紛をおさめて興国寺城主となる。次いで伊豆箱根山城に入り明応4年小田原城を奪い、これを拠点に関東の制覇にのりだした。その後、三代氏康の時代には城下町の形態も整い、小田原は関東における政治・経済・産業・文化の中心地として、五代氏直の時代に豊臣秀吉に敗れるまでの100年間、上方にも勝るといわれるほどの繁栄を築いた。





海の恵み、  
地の恵み、  
人の恵み、  
小田原は  
本当に良いところですね！

**蒲鉾**

小田原蒲鉾の起源は江戸後期、天明文化にさかのぼる。相模湾で獲れるオキギスを原料に、江戸日本橋から小田原に渡り住んだ職人によりその技術が研究され、関東式蒲鉾といわれる色・型・味の三拍子そろった品位と風格ある板蒲鉾が完成した。現在ではグチを主原料とする豊富な鱈魚と箱根水系の良質な水が、小田原産ならではの肌つや、きめの細かさ、弾力ある絶妙な歯ごたえを生んだ。これこそが、小田原蒲鉾の味わいである。



**和菓子**

城下町は茶の盛んなところでもある。四季折々のさまざまな茶会が開かれた小田原は、大久保城主時代に茶道が花開く。茶の湯を好んだ大久保城主は、城におさめる菓子を司る菓子舗の商人の位を高くしたことから、優れた菓子職人が小田原に多く集まってきたといわれる。



**地酒**

小田原には酔い心地の良い、うまい酒がある。知る人ぞ知る銘酒「智恵袋」だ。箱根水系を源流とする「灘」にも負けない良質な水は、口あたりがよくまろやかで、力ある芳醇な酒をつくる。磨かれた技術とおだやかな気候風土が育てた小田原の地酒を、地場の魚を刺身は、通にはたまらない。

**ものさし**

箱根外輪山に竹林が多くあった江戸のころ、幕府の用を受け、小田原の里で竹のものさしづくりが始まったとされる。今でこそ竹製はあまり使われないが、かつては全国の80%の生産量を誇るほど小田原の竹のものさしづくりは盛んだった。



**木工**



市内早川に「木地挽」という地名がある。そこに芹橋を社家とする紀伊神社があり、木地師の始祖といわれる惟高親王が祭られている。平安の昔、京都のろくろ師集団が小田原に上着し、関東



一宮尊徳

(金次郎)

江戸時代の農政家。相模国(小田原)の人。苦学の末、没落した一家を再興。文政5年(1822)下野国(栃木県)桜町領の荒地の復元に努め、その後も北関東中心に各地の農村復興や藩の財政建て直しを行う。自ら陰徳・積善・節儉を敷行し、弟子により細徳社を設立。生涯を通じて貫いた実践主義により、農業・経済・土木などの広い分野で指導力を発揮した。「小を積んで大を為す」の原理は現代の生活にも息づいている。

# データで見る小田原

## 3. 産業

商業(平成9年6月1日) \*飲食店は平成4年10月1日

<卸売業>

商店数	従業員数	年間商品販売額
558	5,080人	2570億7000万円

<小売業>

商店数	従業員数	年間商品販売額
2,440	14,435人	2739億7500万円

<飲食店>

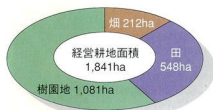
商店数	従業員数	年間商品販売額
804	5,452人	309億4700万円

工業(平成10年12月31日 従業員4人以上)

事業所数	従業員数	製造品出荷数
460	17,578人	8388億2700万円

出荷数第1位の産業 化学工業

農業(平成7年2月1日)



漁業(平成12年3月31日)

経営体数	小田原漁港の漁船水揚状況
55(平成10年11月1日)	1,389t

## 1. 面積・気象

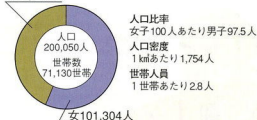
面積 1 4 ・ 0 ・ 6 km	都市計画区域(平成12年1月1日現在)		
	市街化区域27.97km <sup>2</sup>	市街化調整区域86.09km <sup>2</sup>	
	地目別土地面積		
	宅地18.59km <sup>2</sup>	田畑26.43km <sup>2</sup>	原野・池沼18.67km <sup>2</sup>
	山林19.58km <sup>2</sup>	雑種地6.28km <sup>2</sup>	その他24.51km <sup>2</sup>

気象(平成11年度中)

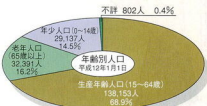
平均気温15.9℃	最高気温36.2℃	最低気温-3.5℃
年間降雨量1,623.5mm		

## 2. 人口・世帯

平成12年4月1日現在  
男98,746人



人口比率  
女子100人あたり男子97.5人  
人口密度  
1kmあたり1,754人  
世帯人員  
1世帯あたり2.8人



昼夜間人口(平成7年国勢調査)

昼間人口196,478人

夜間人口199,301人

## 4. 観光

年間観光客数(平成11年中)3,846,212人  
宿泊197,450人



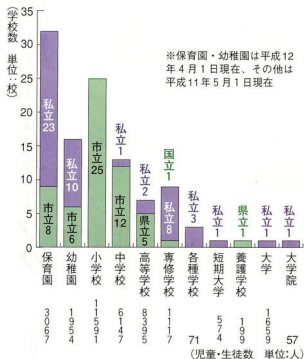
主な行事別観光客数

梅まつり	805,000人
北條五代祭り	170,000人
桜まつり	418,000人
ちょうちん夏まつり	183,000人
菊花展	96,000人
酒匂川花火大会	120,000人
小田原城天守閣入場者数	327,188人(1日平均896人)

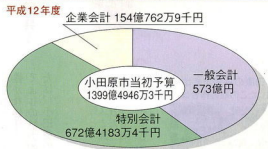


5月に行われる北條五代祭り

## 9. 子育て・教育



## 10. 財政

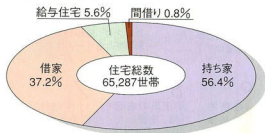


## 11. その他

市制施行	昭和15年12月20日
市役所所在地	小田原市菟窪300番地
市の木	くろまつ(昭和51年制定)
市の花	うめ(昭和51年制定)
市の鳥	コアジサシ(平成7年制定)
選挙有権者数(選挙人名簿登録数)	総数159,459人
平成12年6月12日確定数	(男78,114人 女81,345人)
市議会議員・職員数(平成12年4月1日)	
市議会議員数	32人(定数32人)
職員数	2,167人
姉妹都市	栃木県今市市 チュラピスタ市(アメリカ合衆国)

## 5. 住宅・公園

住宅(平成7年国勢調査)



公園(平成12年4月1日)

都市公園数	127か所
面積	64.11ha
1人あたりの公園面積	3.2㎡

## 6. 環境

下水道普及率	66.6%	ごみ総処理量	82,458 t
(平成12年3月31日)		(1人1日あたりごみ排出量1.12kg)	(平成11年度)

## 7. 交通

自動車保有台数(平成11年3月31日)



鉄道

小田原市内の鉄道(18駅)  
 東海道新幹線 東海道本線 小田急線 箱根登山線 大雄山線  
 小田原駅乗車人員(平成10年度)  
 35,924,559人 1日あたり98,423人



## 8. 医療

医療施設・病床数(平成12年3月31日)







# ミレニアム・プロジェクトを語る

小田原市長 小澤良明

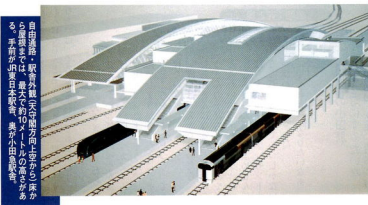
八年前、市長就任も無くJR東日本の住田社長に面談を求めた。

「市長さん雅事業になりますよ。本当にやる気ですか。分りました。具体的に進めましょう」

小田原駅東西自由連絡通路建設設計画が動き出した瞬間である。昨日のこのように鮮やかに覚えている「コマ、私にとつてのいわば「歴史的な第一歩」である。

西暦二千年、ミレニアム、市制施行六十周年の今年、春以来小田原駅構内で二つの地鎮祭が月を起って順次執り行われた。自由通路建設着手に伴うJR東日本、小田急、JR東海、それぞれの工事安全祈願祭である。いくら世紀をまたぐ大事業といつても一連の工事で三回も祈願祭というのは前代未聞であろう。自由通路設計画のここに来るまでの長い険しい道りを象徴するようにな出来事であった。苦勞をともにしてきた関係者一同、特に最大の市政課題と位置づけて懸命に取り組んできた私自身、感無量のものがあった。

小田原駅は鉄道五社が乗り入れ、世界の観光地箱根の表玄関と神奈川西部の広域拠点駅としての機能を併せ持つターミナル駅でありながら、東西を結ぶ自由通路が無い。利用者はわざわざ百四十円の入場料を払って駅構内を行き来するという誠に不親切な駅として内外の批判的であった。鉄道にまちを分断されているという都市構造上の問題もあつて、まなづくりの上からもこれが最大の懸案となつてきた。



自由通路、駅舎外観(天守閣方向)上空から床から展望では、最大で約10メートルの高さがある。手が届くJR東日本駅舎、奥が小田急駅舎。

重ねてしまつてきた。こうした閉塞状況の中での新市長としての私の決断と行動は、当面の交渉相手である鉄道側の真摯な対応を喚起する一石となつたのである。

景気の長期低迷、中心市街地の空洞化、厳しい市財政と、大事業を進めるには余り良い環境ではなかつたが、だからこそ事業推進の為の必要条件とは如何にあるべきか必死で考え動いた。まず市役所内部や市議会、市民社会の合意を得ることから始つて、広域圏を構成する近隣一市八町の首長や議長の同意、神奈川県の新総合計画にしっかりと位置づけられること、そして国や県の財政的支援を如何に得るかに至るまで、大袈裟でなく聞くも涙、語るも涙、紆余曲折の八年の忍耐と努力だった。

着手したばかりの今、苦勞話を語つても詮ないことであるが、こうして多くの障害を乗り越え、ミレニアム・プロジェクトとも言うべき壮大な自由通路建設が植音高く起上されたのである。

単に市民が駅構内を自由に往来できる通路事業ということではない。相模川以西の広域圏の拠点駅として、富士箱根伊豆交流圏の神奈川の西のゲートとして、もつと言へば首都圏の南の玄関として、国や県からもその意義を重く受け止められ、小田原駅周辺再整備構想の「スターティング・プロジェクト」として巨額の補助金も得られた上で、ようやく陽の目を見ることになつたのである。

それだけにこの事業が完成の晩には、利用者の利便は勿論のこと、中心市街地活性化の起爆剤、ひいては千年先まで本市発展の原動力となる、まさにミレニアム・プロジェクトと呼ぶにふさわしい大きな成果が期待される。

本事業に市民皆様の積極的なご理解とご協力を請ひ願う所以である。

## 小田原

### 彩時記

#### 力強く 特別市に移行

11月2日、中央公民館に約400人が集い、特別市移行記念式典を行いました。小澤市長が「地方政府の気概をもつて、まなづくりを進めたい」と力強く



意志表明すると、会場からは盛大な拍手が起りました。市民公衆研究員の政策総合研究所平井太郎さんと地域づくり課石渡恵理子さんも、市民、職員を代表して未来に向かつての決意表明を行いました。

#### 全国特別市のリーダー

11月10日、特別市に移行した全国10市の首長が集い、全国特別市連絡協議会が小田原市役所で行われました。会長は小澤小田原市長が選出され、国に向ける事務権限の拡充や新たな充財源の確保、充財源を定める要望書を提出することを決めました。

小田原市はこれで名実ともに、地方分権のリーダーとなりました。

全国特別市連絡協議会



# ぼくは、こんなまちにすみたい。

誌上 ミレニアム絵画・作文展

これらの作品は「ミレニアム記念 21世紀の小田原 こんなまちにすみたいな」絵画「コンクールの優秀賞と、作文コンクールの市長賞です。なお、作文は掲載上、一部抜粋しています。

ぼくの大好きなおだわら

早川小 1年 大橋 庸平

ぼくは、おだわらが大好きだよ。ポケモン



城南中 1年 富田 理紗

表題：花と緑

花がいっぱいで木がたくさんあるまちに住みたかったから、花と木をたくさんかきました。

シャンプーをくれるおじさんのいる、おもしろいところやさんもあるし、えんそくでいったらねばくらげもいるから。ローラーすべりだいは、くるくるまわってあしがビリビリしたよ。

ぼくの大好きなおだわらには、こん虫がいっぱいのへやがあれはなおさらいいな。カプトムシやセミは、たまごをうんで、しんでしまうから、たまごがそだつところをちゃんどつくってあげたいな。

ぼくは、大きくなったら、おしやさんになるんだ。おりこうさんの子どもには、とこやさんみたいに、ポケモンシャンプーをあげるんだ。およめさんには、木のゆびわをプレゼントするんだ。せかいで一つしかないゆびわをつくるんだ。

21世紀の小田原  
こんな町にすみたいな

富木小 2年 清水 千づる

「21世紀の小田原、どんな町にすみたいかな」とわたしは考えました。わたしは自分が生まれそだつた小田原を、あまりしらないことに気がきました。おじいちゃんに「小田原ってどん

などところと聞いてみました。おじいちゃん小田原は、わかしからとてもしゃべらないう町で、れきしがたくさんある町なんだよ。だから、りっぱなおしろがあるだろう」と。

おばあちゃん「清水も30年前は、もつと自ぜんがゆたかだったんだよ。今はもうないけど、ぼたるがたくとんとんでいて、とてもしきれいだったのよ」と。

「いつてきますよ」  
「いつてらっしゃい。今日は、カプセルで行くの？」  
「うん、荷物、たくさんあるからそれにシルバード大学の人とおしゃべりしながら行くのもいいんだ」  
「ふーん、そうそう、午後はもうわんぱくらんどのログハウスは完成したの？」  
「うん、今日はね、酒匂川でいかだを作るんだ」  
「そう、がんばってね、5時には帰ってくるのよ」  
「はい」  
ときどき、シルバード大学の人しかられたり、ボランティアの先生にいろいろ相談する小田原に生きて、毎日日本当におもしろい。小田原に住んでいてよかったとおもなう思っている。だれかが困っている時ややんでいいる時、みんながやさしくしてくれる。  
こは、21世紀の小田原です。私はこんな小田原の一員になりたいです。  
（注）カプセルは21世紀の電気のりもの。ソラーカーの電気で動く車。

大すき・小田原・21世紀も

国府津小 3年 井上 舞

わたしのおじいちゃん、足がちよつと悪くて「みんなでお出かけしよう」といつても「こんな体だから、非くのがたいへんなんだよ」といつて、なかなかいっしょにいきませぬ。そんな時わたしは、とてもしきみしめす。非道がもつと広かったり、でこぼこがないといいかかと思ひます。そうしよに、おじいちゃんもお出かけしやすしと思ひます。

21世紀の小田原は、まちに木やお花や公園がたくさんあって非道も広くてでこぼこがなくなつていっす。そして、大好きなおじいちゃんとおばあちゃんには、もつともつと長生きしてもらひ、わたしといっしょに公園に行つたり、おさんばしたいと思ひます。

21世紀の小田原 みんなの笑顔

富木小 4年 山本 美沙

大勢の人とふれあう町に

若子小 5年 遠藤 華

夏のとても暑い日、私は小田原の町で一人のおばあさんを見ました。そのうち、おばあさんは、あるお店の横のコンクリートの石段にすわりました。その様子をつつと見つけたら、私はひいおばあちゃんのことを考えていました。  
こは雨の日でも便利ですよ。急な夕立がふつてきた時に雨やどりができるし、お友だちと待ち合わせるにも便利ですよ。  
またこは、お年よりだけでなく、赤ちゃんとだいたお母さん、おつとめ姉のお父さん、だれでも気がるに立ち寄れる場所であつてほしいと思ひます。



# まちで見かけた 小田原の建築物

城下町、宿場町として栄え、明治期には政財界や文学者たちの別荘、保養の地として発展してきた小田原。古い武家屋敷や農家、町屋のたたずまいは、明治以降の別荘とともにほどよく調和し、小田原独特の情景をかもし出しています。普段何げなく通り過ぎてしまふ建物から、小田原文化の魅力を探ります。

建築士 平井泰延(平川)



## 「山月」共寿亭(板橋)

現在の「山月」は所有者が代わっているが、元は明治・大正期の実業家男爵、大倉喜八郎が、1920(大正9)年に建築した別荘で、当時は「共寿亭」と称していた。新築された2年後の関東大震災では、近くの山縣有朋公の別荘「古稀庵」は倒壊したが、この建物は残った。

この建物の外観は御殿風に見えるが、内部は洒落な造りになっている。設計は、当時の著名な建築家伊藤忠孝と言われているが、はつきりとしていない。入口の重量感のある門柱・門扉を抜けると、一見不利な地形を利用した豪壮な庭園があり、鬱蒼とした樹木に囲まれ、石塔・石像・石碑があり、かつは流や小川もあったという。

現「山月」の玄関は、北側に別に造られているが、建築当時の玄関は南側で、唐破風が付き、前には石像の狛犬2体が客を迎えるように置かれていた。玄関ホールには、箱根細工様の板と障子の寄せ木板張り。大広間の天井には、雀と蝶の彫り物の鏡板を交互に使っている。天井のシャンデリアも当時のままである。応接間の天井は網代と杉柵の模様と、いずれも大変手が込んでいる。

喜八郎が居間として使った1階の部屋は、書院造りで、風で上段の間が付き、ここで喜八郎は応接をし、また昼寝を楽しんだという。2階の居間は眺望が素晴らしい。板戸には、梅、水仙など草木の花の彫金細工と、岩絵具の絵が描かれていた。貴重な板戸である。夫人の部屋は敷居造り風でやさしい。付け書院に楕円窓、杉の面皮柱、大面取りの長押など、女性らしい造りになっている。喜八郎の寝室には、暴漢に襲われるのを恐れて、外への逃げ口があった。隠し部屋跡の跡があったりする。

小田原市ゆかりの優れた建造物

(註)大倉喜八郎(1837~1928)天保9年横浜・新潟藩の生まれ、1865(慶応元年、東京府田に鉄酒店を開き、1873明治6年、大倉組を設立、貿易商を始める。西南・日清・日露戦争の際に、軍需物資の調達、輸送により巨利を得る。その財力により様々な事業を展開し、一次で大倉財閥を築いた。他方、大倉組を商業学校理京経済大学の創立者、日本初の私立美術館「富士館」の設立を、学園・文化の面でも大きな足跡を残した。昭和33年没。享年92歳。



## 「勝福寺・金堂と仁王門(飯泉)」



飯泉観音のてるま市は、12月17日の夜が大変な人出で賑わい、翌日も開かれる。その飯泉山勝福寺には、県・市指定の重要文化財の建造物、本尊の十一面観世音像、青銅水鉢、銅鐘。さらに天然記念物の大銀杏などを見るときもが数多くある。さらにその歴史を見ることで、「勝福寺(千代庵寺)遍礼街道」のことなど、話題も多い由緒ある寺院でもある。

そのうち今回は、金堂(観音堂)と仁王門について述べることにする。

### 金堂(観音堂)

このお堂は、棟札によれば1706(宝永3年)に再建された建物で、江戸中期の典型的密教伽藍である。木造、廻縁拜付き、宝形造り、銅板葺、青銅製宝珠を葺する。木鼻、笠股の彫刻が目をひく。左右に火灯窓。内陣は格天井で、中央部を折り上げて白龍が画かれている。

1968(昭和43年、老朽化のため半解体修理。宝珠や屋根の反りといひ、均整のとれた外観が美しい建物である。神奈川県指定重要文化財(建造物)。



宝永年間(1704~1711)の建築で、八脚門、切妻造り、銅板葺き、両脇に木造金剛力士像を安置して、伽藍の守護をしている。幕殿、木鼻および虹梁の絵様彫刻や破風の曲線は、江戸中期の手法で、建物の姿が優れている。1964(昭和39年)修理。

左右にある、阿形、吽形の金剛力士像は製作年、作者も不明だが、力強く、仁王門と彫整とされている。



小田原市指定重要文化財(建造物)。